2025

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

認知症に関する活動計画（概要）

鳥取県作業療法士会では、平成27年度より認知症・メンタルヘルス推進委員会を設置し、①認知症初期集中支援チームをはじめとする認知症施策やケア会議等において作業療法士の立場から適切な助言・支援ができる人材育成、②地域・高齢者に対する支援や多職種と連携・協働し地域の抱える課題の検討などを推進できるチームケアリーダーの育成を目的に活動を行っている。

認知症研修会／人材育成

鳥取県地域医療介護総合確保基金事業の助成を受けながら年3回の認知症研修会を開催。6つのテーマに基づき研修会を開催し、会員の受講状況を登録・リスト化し事業への協力派遣を行う体制を作っている。令和6年度末時点で、会員118名が6テーマの受講を修了している。

研修会は「つなぐ・つくる」認知症カフェを拠点とした地域づくり、つながりの中に身を置いて生きるといったテーマで開催。VR認知症体験会も 行い、「自分ゴト」として認知症を学ぶ機会を創出している。

VR認知症体験会の様子

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

認知症の人と家族の会と協力のもと、9月と10月にRUNTOMO鳥取を開催予定。若年認知症のご本人たちが作成したカヌーでスタートを切り、米子市内をたすきリレーしYMCA米子医療福祉専門学校の学園祭でゴール予定。ゴールの学園祭では、通所リハの利用者、就労支援事業所、ろうあ仲間サロンの方々の出店も計画中。

RUNTOMO鳥取啓発ポスター

認知症初期集中支援関係

平成28・29年度で国立長寿医療研究センターが開催している認知症初期集中支援チーム員研修へ県士会員を6名派遣、認知症研修会の中で伝達講習を行い、会員94名が受講済み。現在、鳥取市、米子市を中心に初期集中支援チーム会議に会員を派遣している。

認知症予防関係

研究開発に協力した「とっとり方式認知症予防プログラム」の普及促進事業として、サロンの世話人向け研修会やリーダー育成研修、認知症予防専門士講座などでプログラムの紹介やデモンストレーションを行っている。昨年度から全4回の体験版を作成し、県内10か所のモデル地区（サロン）で実施している。

とっとり方式認知症予防プログラム

認知症の人と家族の会との連携事業

県下3か所で若年認知症サポートセンターが実施している「若年認知症の人と家族のつどい（にっこりの会）」へ会員を派遣し、活動内容の企画・実施に携わっている。本人ミーティングへの参加も調整中。

その他

ろうあ仲間サロン会での介護予防講座の講師派遣、今年度から刑務所における支援に向けた調整を行っている。

ろうあ仲間サロン会